

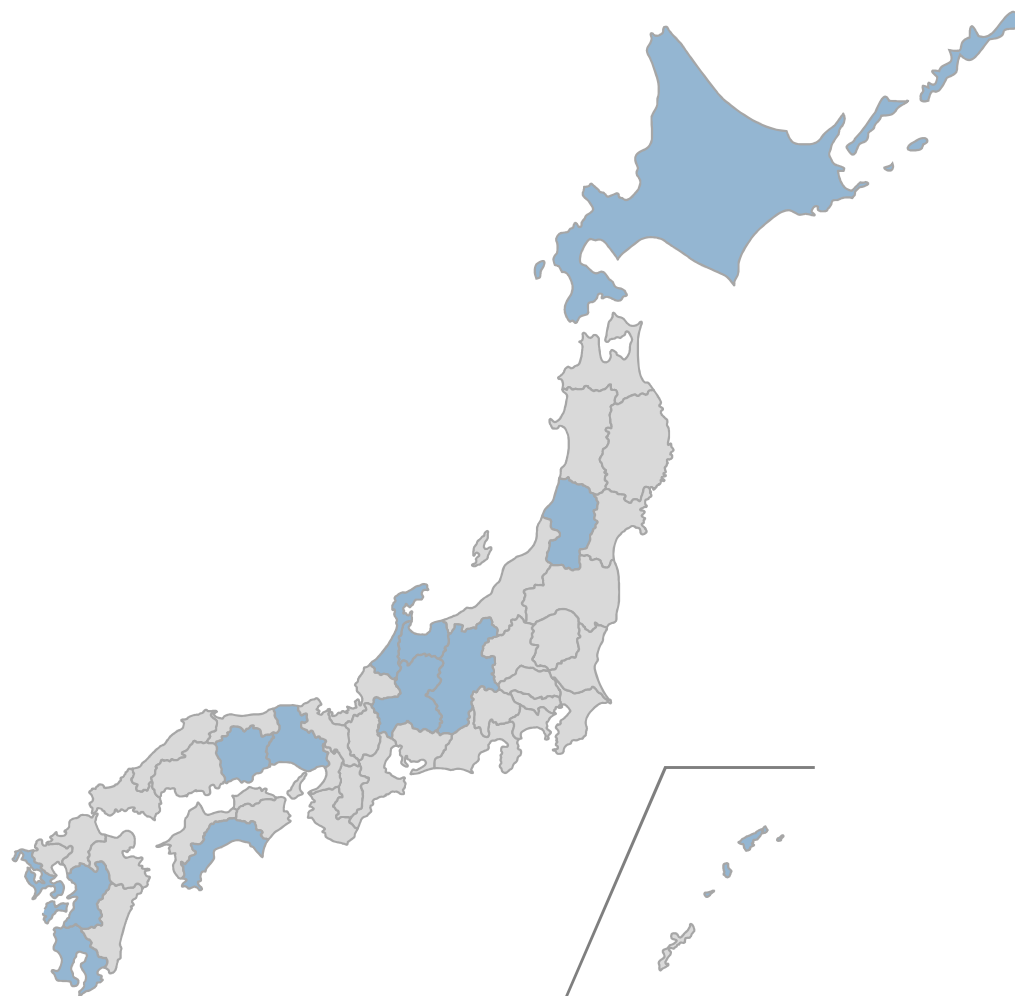
令和4年度 地方応援隊活動報告書

～霞が関の若手職員による市町村の課題解決支援～

- **地方応援隊**では、**条件不利地域の小規模市町村**に「**隊員**」として**1自治体2名程度**の**若手職員**を割り当て、年に数回の現地訪問や月1回程度のWeb会議等を通じて、**地域課題を整理**し、その**解決に向けた取組の方向性などを提案**しています。
- 現在、**国土交通省29名**、**農林水産省18名**の計47名が、**全国23市町村**を対象に活動しています。（R5.2.1時点）
- 本報告書は、隊員が活動を通じて感じた**担当自治体の魅力ポイント**についてお伝えするとともに、その**地域が抱える課題**、**令和4年度における活動内容**及び**今後の活動方針**について報告するものです。

対象自治体 一覧

- | | |
|--------------------|-------------------|
| <u>01</u> 北海道奥尻町 | <u>15</u> 高知県安田町 |
| <u>02</u> 北海道沼田町 | <u>16</u> 長崎県島原市 |
| <u>03</u> 北海道当別町 | <u>17</u> 熊本県和水町 |
| <u>04</u> 北海道余市町 | <u>18</u> 熊本県人吉市 |
| <u>05</u> 北海道新ひだか町 | <u>19</u> 鹿児島県知名町 |
| <u>06</u> 北海道富良野市 | <u>20</u> 鹿児島県天城町 |
| <u>08</u> 富山県立山町 | <u>21</u> 鹿児島県長島町 |
| <u>09</u> 石川県宝達志水町 | <u>22</u> 山形県鶴岡市 |
| <u>10</u> 長野県木祖村 | <u>23</u> 鹿児島県喜界町 |
| <u>11</u> 長野県飯島町 | |
| <u>12</u> 岐阜県郡上市 | |
| <u>13</u> 兵庫県養父市 | |
| <u>14</u> 岡山県新庄村 | |



奥尻町の魅力ポイント

■面積 142.99km² ■人口 約2,400人 ■指定地域 離島

- 観光業がさかんでウニやアワビなどの海産物が自慢！
- 奥尻町産のぶどうの6次産業化に成功！
- 脱炭素先行地域として「サステイナブル・アイランド奥尻」を目指す
地熱発電が取り組みの目玉でエネルギーの地産地消を目指す
- 離島留学生によるまちづくりがさかん！
地域の特産品のマルシェや物販等を高校生主体で開催
- 平成5年北海道南西沖地震の津波災害から復興



奥尻ワイナリーの工場内



観光シンボルの「なべつる岩」とうにまるモニュメント



奥尻高校の授業風景

奥尻町の課題

■ 政策分野 定住対策・地域交通・観光対策

- 奥尻町の離島留学は好評で定員も充足、今後は卒業後の定住へつなげていく必要
- 公共交通の維持のため、フェリー、バス、航空路線の赤字縮小、限られた予算内での利便性の向上が課題
- 地域の基幹産業である観光に対し、新型コロナウイルス感染症による来島者の減少や、公共工事の増加に伴う建設業従事者の滞在による島内宿泊施設の不足などが大きな打撃
- 日帰り観光は、フェリーや航空路線の本数を勘案すると難しい状況

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 7月と11月に現地調査を実施
- 現地調査の際に離島留学生、路線バスの担当部署、観光担当部署、商工会等にヒアリングを実施

今後の方針

- 離島留学生の地域参画を一層促すため、卒業生を含む離島留学生のネットワークづくりを提案
- 脱炭素化事業の一環での公共交通再編に対し、利便性の向上に資する助言、情報提供

沼田町の魅力ポイント

■面積 283.35km² ■人口 約2,900人 ■指定地域 豪雪

■ ほたるの町

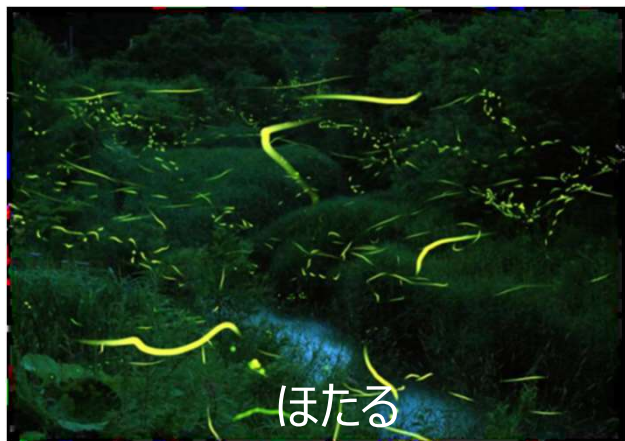
7月上旬～8月上旬にかけて、数千匹のほたるが乱舞しており、大勢の観光客がほたるを見に訪れる。

■ 夜高あんどん祭り

北海道3大あんどん祭りのひとつであり、北海道唯一の喧嘩あんどん。令和4年度は3年ぶりに開催され、約63,000人が来訪。

■ オリジナルの特産品

多い時は150cm/日積もる雪を活かし貯蔵された「雪中米」やしいたけの栽培が盛ん。また、「日本一の加工用トマト生産量の町」を目指しており、トマトジュースやケチャップの製造に力を入れている。



ほたる



あんどん祭り



トマトジュース



雪中米

沼田町の課題

■ 政策分野 観光振興

- 観光振興に取り組みたいと考えており、「沼田町での暮らし」を体験する滞在型観光をイメージしているが、町民の目線だけではどのようなコンテンツに訴求力があるのかが分からない。
- 沼田町を通るJR北海道留萌本線（深川から留萌）の廃線が決定。
廃線路や沼田町中心地に位置する石狩沼田駅跡の活用方法及び住民の移動手段の確保など、今後に向けた施策を検討する必要がある。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 10月に国交省隊員2名が現地を視察。
町営農業施設の視察や自然体験イベントへ参加。
観光振興等に関して、町外の目線から観光コンテンツなどに関して意見交換を行った。

今後の方針

- 観光振興施策に係る課題について、引き続き協議を行うほか、他地域の事例や国の補助制度の調査を行いながら、「沼田町での暮らし」を体験できる滞在型観光の実現に向け支援を継続していく。
- 月1回の頻度でWEBミーティングを実施。



自然体験イベントの様子

当別町の魅力ポイント

■面積 422.86km² ■人口 約15,000人 ■指定地域 豪雪

■札幌から車・電車ともに40分とアクセスよし！

～札幌近郊は地価上昇中、大都市札幌のベッドタウンとして注目～
札幌周辺の土地開発が進み、近隣都市はベッドタウン化が進行、当別町も今後注目を浴びる予定。

■チョコレート会社ロイズの大工場あり！

～北海道で20年ぶりの新駅、ロイズタウン駅～
ロイズの工場があり、従業員・観光客の足として新駅が開設。

■伊達家ゆかりの土地、伊達政宗の子孫が開拓！

ご当地キャラとベのすけは伊達政宗がモチーフ。

■日本に居ながら北欧を感じられる町！

～スウェーデン国王も訪れた北欧の町並み～
北欧風の住居が立ち並び、北欧の夏を代表するお祭り「夏至祭」も開催。



公示地価 上昇率 市町村ランキング 2022年[令和4年]

順位	都道府県	市町村	公示地価平均	坪単価平均	変動率
1位	北海道	北広島市	3万1442円/㎡	10万3940円/坪	+18.30%
2位	北海道	恵庭市	2万8300円/㎡	9万3553円/坪	+15.81%
3位	北海道	江別市	3万3771円/㎡	11万1642円/坪	+15.49%
4位	北海道	千歳市	3万5780円/㎡	11万8283円/坪	+13.22%
5位	北海道	石狩市	2万0876円/㎡	6万9013円/坪	+12.71%
6位	福岡県	須恵町	5万8050円/㎡	19万1900円/坪	+8.59%
7位	北海道	札幌市	17万0628円/㎡	56万4061円/坪	+8.06%

(引用)https://tochidai.info/public-price_change-rate_city-ranking/

ロイズタウン駅(駅前広場は今年の12月1日に供用開始)

今年度から工場見学できるロイズ工場
(11月からプレオープン開始)

別荘地として有名なスウェーデンヒルズ

当別町の課題

- ロイズタウン駅周辺の活性化
- ロイズの工場・道の駅等の資源を活かした周遊できる観光
- 農地を活かした企業誘致

■ 政策分野 まちづくり・観光・企業誘致



北欧の風道の駅とうべつ

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 7月に現地視察を実施し、当別町の魅力を体感・発見！
- 離島におけるスマートアイランド実証調査事例の共有
- ロイズタウン駅周辺整備について情報共有
- まちづくり事例の共有、官民まちづくりの有識者紹介

過年度におけるスマートアイランド推進実証調査の例

島の課題

公共交通網の衰退
観光繁忙期における輸送サービスの不足



グリーンスローモビリティのイメージ

島の課題

物流ルートの不足や天候等による海上輸送の不安定性



ドローンによる物流のイメージ

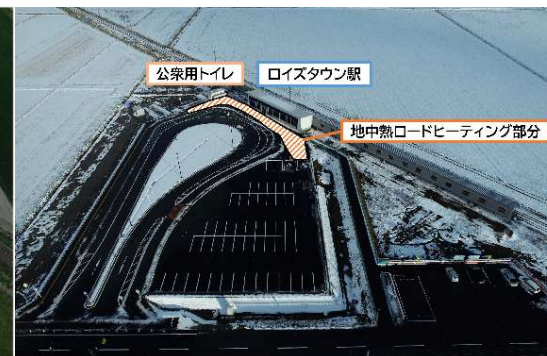
スマートアイランド実証調査紹介例

今後の方針

- 農地を活かした企業誘致の課題に対し、民間との協業スキームの検討
- 観光地を周遊する自動運転バスについて検討



駅前広場整備前



駅前広場整備後（ロードヒーティングも設置）

余市町の魅力ポイント

■ 面積 140.59km² ■ 人口 約1.8万人 ■ 指定地域 過疎・半島

■ ワイン産業

ワインブドウの栽培が盛んであり、一面にブドウ畑が広がる風景は、日本ではあるとは思えないほど雄大。

国際的な評価を受けたこともあり、余市産ワインの人気が一層高まっている。

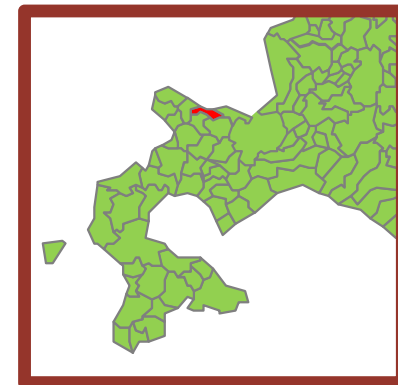
■ ウイスキー産業

ニッカウヰスキーの創業地である“余市蒸溜所”は町の一大観光地となっている。

連続テレビ小説『マッサン』の舞台となったこともあり、余市町の知名度向上に一役買っている。

■ 海の幸

かつてはニシン漁で栄えた余市町。今でも豊かな海の幸を堪能することができる。



ワインブドウ畑



余市蒸溜所



ヘラガニを使用したパスタ

余市町の課題

■ 政策分野 関係人口の創出・業務効率化・多様な働き方

■ 公共施設の利活用（ワーケーション施設への転換）

老朽化が進む既存施設の利活用向上のため、既存施設を活用したワーケーション施設への転換を行い、関係人口の創出にも寄与することを目指す。

■ 庁舎内でのペーパーレス化の推進／テレワーク環境の整備

電子決裁の導入によるペーパーレス化の推進やテレワーク環境の整備を通じ、業務の効率化や多様な働き方の推進に取り組む。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 6月および9月に余市町を訪問し、公共施設の確認と電子決裁の導入に関する意見交換を実施。
- 電子決裁の導入にあたっては、余市町で運用する際の参考として、国での導入事例を紹介。

今後の方針

- ワケーション施設の課題について意見交換を実施し、より良い施設となるよう提案を行う。
- テレワーク環境を整備するにあたって、余市町の若手職員との議論を行い、国のとの違いを認識した上で余市町に適した提案を行う。

新ひだか町の魅力ポイント ■面積 1,147.55km² ■人口 約2.1万人 ■指定地域 過疎・振興山村

■ 優駿桜国新ひだか！ 7 km続く桜、丘と馬。ここでしか観られない素敵な風景！

二十間道路桜並木

北海道の桜の名所。直線7kmに、2000本以上の桜。大正5年からの歴史を持ち、樹齢100年を超える木も。春には「しずない桜まつり」が開催され、賑わう。



競走馬のふるさと

「丘があり馬が放牧されている風景」は北海道内でも珍しく、地区の特色であり魅力。軽種馬農協で競りが行われる期間、町内宿泊施設は満員御礼。



■ 新規就農者も頑張っています！ 安心！ 手厚い農畜産業バックアップ体制！

農業

太陽の瞳(ミニトマト)は新規就農者向けにハウスと土地を町が準備。充実した研修体制が人気。



園芸

暑い夏に青色が咲くのは北海道だけ！デルフィニウムは町の主要産業のひとつ。町営育苗施設により農家のリスクを軽減。



畜産

黒毛和牛の「みついし牛」は町営の肥育施設で一貫生産している。



▲ホテルには競りの際等に利用する馬主さんの馬のタペストリーが飾られていることも。サラブレッドのふるさとだと感じる瞬間。

■ 充実の町営施設！ 森と海 2 箇所のキャンプ場と乗馬施設！

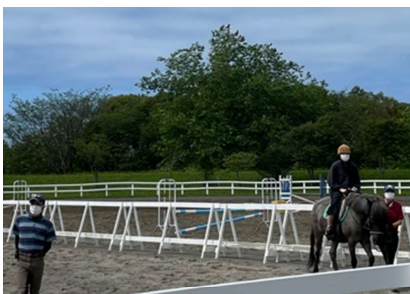
【キャンプ場】

三石地区と静内地区にそれぞれ整備、温泉も隣接。三石地区のキャンプ場は海沿い。季節により星の観測も可能。道の駅もすぐそばでBBQにも便利。隣接の「みついし昆布温泉蔵三」には昆布が浮いている！ 静内地区のキャンプ場は緑に囲まれていてゆっくり過ごせる。



【ライディングヒルズ静内】

教育面に注力した乗馬施設。地域の子どもが競走馬を身近に感じられるよう、馬に触れる機会を創出。施設内に、クイズやぬり絵を設置して、子どもが飽きない工夫をしている。乗馬や餌やりが安価で体験可能。



【特産品】

- ・競走馬
- ・米(トキノミノル、万馬券)
- ・ミニトマト(太陽の瞳)
- ・和牛
- ・昆布
- ・海産物(蛸、ツブ、鮭、マス)
- ・デルフィニウム 等

【お土産(一例)】

- ・三石羊羹(老舗菓子屋作!)
- ・ユッカムジャーキー(桜の香り!)
- ・あらいそまる(昆布入り肉まん)

新ひだか町の課題

■ 政策分野 地域交通・難聴地域の共聴施設等

■ 地域内公共交通利用促進及び交通網再構築

⇒合併前のコミュニティバスの統廃合の困難さ、廃線代替バス

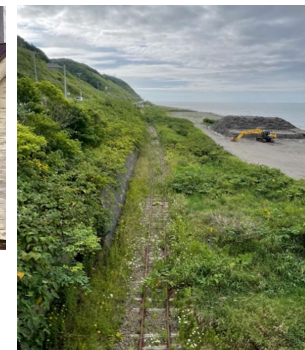
■ 難視聴地域の共聴施設及び組合の維持

⇒組合員としての意識の低下、施設老朽化等

■ 地域課題解決へのICT技術利用促進

■ 農業分野での技術者不足や収穫期の人手不足

街中を走行する廃線代替バス。▶
線路は使用時のまま残っている。



◀老朽化により倒れてしまった共聴施設。田んぼ側に傾いていることが写真からも良くわかる。根元から折れてしまっている。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 概ね毎月1回程度のオンラインミーティングを開催、8月第1週に現地を訪問。
- 各隊員が公務や応援隊定例ミーティング、個人的興味等により得た情報について積極的に提供。

今後の方針

- 担当課直轄の課題は全て概ねの方向性が決定し、動き出しているため、見守りつつ随時進捗確認。
- 交通系課題はJR廃線による代替バス問題と自治体コミュニティバスの問題が混在しており、運輸局との打ち合わせへの同席等を検討中。

富良野市の魅力ポイント

■面積 600.7km² ■人口 約2.0万人 ■指定地域 豪雪

- 北海道のどまんなか位置し、「へそのまち」「スキーのまち」「ワインのまち」ドラマ「北の国から」の舞台となっている“まち”として全国の人に知られています。
- 豊富な観光資源や大自然を満喫できるワーケーションに力を入れています。NPO富良野自然塾と連携し、植樹などの様々な環境教育プログラムは企業研修などで大人気コンテンツです。
- 富良野市のリサイクル率は90%と全国有数の環境リサイクル都市としても知られています。令和3年度に「ゼロカーボンシティ」宣言を表明しました。ゴミの14種類分別も徹底しています！



富良野の大自然



(出典) ワーケーションプラノHP

環境教育プログラム



(出典) 富良野自然塾HP

固形燃料化された可燃ゴミ



富良野市の課題

■ 政策分野 関係人口創出・ゼロカーボン・農業振興・デジタル活用

- 地域資源を活かしたワーケーションの拡大・定着による関係人口の創出や二地域居住・移住の促進
- ゼロカーボン・シティの実現
- 農業の担い手確保
- ICT利活用の推進（デジタル地域通貨の実装）

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 7月に現地打合せ・視察を実施し、現場の実態や課題を把握
- 10月にワーケーションプログラム「地域課題解決アイデアソンin富良野」に参加し、一般参加者とともに「よそ者」目線でゼロカーボン・シティに向けた省エネ・脱炭素へのアイデアを検討
- 交流促進のツール検討のため、デジタル地域通貨の事業者から合同ヒアリングを実施

今後の方針

- ワーケーションの普及拡大に向けたアイデアを検討
- ゼロカーボン・シティ×グリーン農業の実現に向けたアイデアを検討

立山町の魅力ポイント

■面積 307.3km² ■人口 約2.5万人 ■指定地域 特別豪雪地帯

- 東西に長大でダイナミックな自然環境（標高は12m～3,015m）
→立山連峰をはじめ、日本一の落差を持つ「称名滝」や溶岩でできた一枚岩「悪城壁」など。
- 登山家がこぞって訪れる「立山黒部アルペンルート」
→東側は中部山岳国立公園。標高3000メートルに達する立山連峰がそびえます。
世界有数の豪雪地帯として、「雪の大谷」の中を歩くことができます（例年4～6月頃）。
- 関西の電力供給の要「黒部ダム」
→貯水量約2億トンを誇り、186mと日本一の高さで見ると人すべてを圧倒します。
- 多種多様な立山グルメ
→棚田の広がる中山間地域で作られるラ・フランス、米どころを活かした地酒など、様々な食を楽しめます。



立山町の課題

■ 政策分野 働き方改革

- 中央省庁での事例を参考にしながら、立山町役場の業務改善を行う。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 月に1回程度、担当者と隊員でオンラインの打合せを実施。
- 8月に現地視察を行い、役場内の現状把握や職員との意見交換を実施。立山町の魅力を実地で体感。
- 若手職員主導の「未来創造プロジェクト」を企画。ワークショップによる問題意識の深掘りや、役場内での業務改善提案（プレゼン形式）等を構想。

今後の方針

- 「未来創造プロジェクト」ワークショップを開催し、オブザーバーとして参加。
- 業務効率化や、若手職員からの意見提案に関する国側の制度・仕組みについて情報提供を実施。

未来創造プロジェクト

参加者大募集

-働き方を変えるのはあなた自身-

◎実感の伴う「働き方改革」を！

「『働き方改革』のワードはよく耳にするけど、立山町役場が改革された実感は湧かないかも...」「立山町役場の働き方に改善の余地を見つけたけど、色々な制約を乗り越えられずに結局実現できなかった...」
実感が湧かない働き方改革、実現できないまま燃える提案なんでもったいない！
気づきをアクションに変えるプロジェクトに参加しませんか？

◎未来創造プロジェクトとは？

立山町役場をより働きやすい場にするため、役場の若手職員が主体となって業務改善提案を行っていただくプロジェクトです。様々な課からのアイデアを集約の上、企画の提案、予算との兼ね合いまで若手の皆様が考え、実現まで食らいついていただきます！
「町役場が変わった！」と感じていただけるよう、プロジェクトチームもサポートいたします。

プロジェクト参加登録 → キックオフMTG → 企画立案 → 提案 → 実行

12月●日まで！

私たちと一緒にやってみましょう！

プロジェクトに参加することで、思い実感が増えるのでは？

心配しないで！本プロジェクトは大切な業務の一環と考え、各課には可能な限りの業務配転をお願いしています。

私の担当はルーティン業務が多く、効率化する余地が見つからないのですが、

ルーティン業務や窓口業務も、役場全体のシステムを見直すことで効率化の可能性があります。私達と一緒に考えましょう！

地方応援隊写真

参加登録受付中

QRコード

【問い合わせ先】

「未来創造プロジェクト」チラシ案

宝達志水町の魅力ポイント

■面積 111.51km² ■人口 約1.2万人 ■指定地域 豪雪・半島

世界農業遺産に登録されている「能登の里山里海」

■ 観光資源：

世界に3箇所しかない車で走れる砂浜「千里浜なぎさドライブウェイ」、
能登最高峰（標高637.1m）の「宝達山」

■ 特産物：

生産が困難な高級いちじく「黒蜜姫」、高級ぶどう「ルビーロマン」、
白いダイヤモンド「宝達葛」

■ 町の名物：オムライス



CFで資金を募った宝達志水大花火



千里浜なぎさドライブウェイ



高級ぶどう「ルビーロマン」

宝達志水町の課題等

■ 政策分野 まちづくり

- 人口減少、少子高齢化による過疎化はもとより、町内事業者の経営環境悪化等により、若者の流出及び町内所得の域外流出による町の活気が失われている。
- この現状が今後もさらに加速することが予測されることから、これらを抜本的に改善するため、稼げる地域経営を目的としたまちづくりを進めていく必要がある。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 2022年5月から、打合せを毎月3回ずつ（応援隊担当者間、宝達志水町と応援隊担当者、他の地域の応援隊全体）実施。
- 2022年7月に現地を訪問し、町内の観光地や特産品の生産現場見学、生産者との意見交換等を実施。

今後の方針

- 産業の持続を目指したまちづくり戦略の策定に向けて、地域の多様な関係者との意見交換を行うなど、まちづくりを進めるにあたり、客観的な視点によるアドバイスや情報提供等のサポートを続ける。



生産現場の見学

木祖村の魅力ポイント

■面積 140.50km² ■人口 約2,700人 ■指定地域 過疎・振興山村・辺地・特定農山村

- 名古屋市に流れ込む木曾川源流の里 → “木祖”村
- 面積の大部分は山林が占める山間地域（林野率91.19%）
- 高原野菜「御嶽はくさい」の産地 ⇒ 漬物へ
- 標高1,000m以上の畑で育つトウモロコシも甘くて人気
- 古くから伝統工芸品「お六櫛」をはじめとした木製品工業が盛ん
- 夏は「こだまの森」でキャンプやスポーツ等のアウトドア、冬は「やぶはら高原スキー場」でのレジャー、また日本遺産に認定された「中山道鳥居峠」「水木沢天然林」等のトレッキング、ダム湖カヌー体験などの自然資源を活かした観光に力を入れている。
- 木曾川上下流交流事業を積極的に推進
 - ・ 下流から毎年、農業体験や味噌川ダムのカヌーで大勢の観光客 ✓ 名古屋市200万人！
 - ・ 名古屋市内にアンテナショップを設置し、木祖村をPR ✓ 継続的な交流が定着！



特産物の高原野菜「御嶽はくさい」



夏のキャンプ等を中心とした「こだまの森」



伝統工芸品「お六櫛」

木祖村の課題

■ 政策分野 移住・定住推進（空き家対策等）・鳥獣被害対策

■ 移住・定住推進に係る施策

- ・ 空き家…人口減少に伴い、空き家が増加。所有者・移住者の間で売却や賃貸の意向が異なり、うまく合意に至らず利活用が思うように進まない。

（→空き家の賃貸物件が少ないため、移住希望者は賃貸の村営住宅を選ぶことが多い。一方、村営住宅の供給も追いつかないため、移住希望者がいても受け入れるのが難しい現状にある。）

- ・ 地域の魅力発信、移住後の持続性、地域づくり人材の発掘等についても課題感。

■ 鳥獣被害対策…森林に囲まれた木祖村において、様々な鳥獣による被害が生じている。

（→被害を防ぐ防除器具への補助制度等により対策を行っているが、鳥獣の住処となる縁辺部の農地の扱いなど課題を抱えている。）

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 2021年8月 現地に赴いて現状を確認
- 2022年1月 Web会議

今後の方針

- 状況を更に具体的に把握し、空き家対策の好事例・鳥獣被害対策の関連施策の紹介、魅力発信のアイデアについての意見交換等について進めていく。

飯島町の魅力ポイント

■面積 86.96km² ■人口 約9,100人

- 西に中央アルプス、東は南アルプスに囲まれた「2つのアルプスが見えるまち」
- リニア中央新幹線の開通により首都圏とのアクセスが将来的には大幅向上

現在：JRで4時間程度 → 開通後：1時間程度

- 遊休荒廃農地を活用した栗の6次産業化の実現！

農地所有者、菓子メーカー、JA等からなる一般社団法人を設立し経営集積や栗のブランド化を実現。

- 「飯島流ワーケーション」の推進！

「仕事×観光」にストレス発散効果に優れた「農業ヒーリング」をプラスした独自のワーケーションの実施。

- 「与田切溪谷ウォーターパーク構想」の推進

与田切川周辺に点在する施設の再整備やそれらをつなげる周遊コースの整備を町の観光基本計画に位置づけ強力で推進。



飯島町の田園風景

農地付きトレーラーハウス
(ワーケーション施設)

キャンプ場の中にあるサテライトオフィス



栗畑

飯島町の課題

■ 政策分野 農山村振興・地域交通・再生可能エネルギー

■ ワークーション需要の取り込み

企業向けの宣伝活動を行っており、さらなる利用者増を目指す。

■ 水力発電、木質バイオマス発電事業の推進

豊富な水源、森林を活用した発電事業の実現に向けた調整。

■ 遊休荒廃農地対策

一部地域は栗の栽培によって対策が進んだが、それ以外の地域においても対策が必要。

■ リニア中央新幹線長野県駅に繋がる道路整備の実現

■ 与田切溪谷の環境整備

町の観光基本計画に位置づけた「与田切溪谷ウォーターパーク構想」を着実に進めていく。

応援隊の活動報告

これまでの活動

■ 令和4年7月に1回目の現地調査を実施

■ 現地調査を踏まえて、隊員の気づき等を町に共有

今後の方針

■ Webミーティング等を通じて提案・意見を出し合い、2回目の現地調査に向けた検討を行う

郡上市の魅力ポイント

■面積 1030.8km² ■人口 約39,000人 ■指定地域 過疎・豪雪

■ 独自の文化・歴史

- ・郡上踊り (日本三大盆踊り、R4.11.30 ユネスコ無形文化遺産に登録!)、白鳥踊り (白山信仰)
- ・“小京都” 郡上八幡 (重要伝統的建造物群保存地区)
- ・郡上八幡城 (日本最古の木造再建城)
- ・古今伝授の里 (和歌)



■ 四季を通して楽しめる自然

- ・長良川、吉田川を中心とした水の町 (水とともに歩んできた暮らし)
- ・市全域の9割を占める山々 (今も残る里山の風景)
- ・白銀の世界 (西日本最大級のスノーリゾート)

■ 多様な食

- ・鮎 ・鶏ちゃん ・ジビエ ・麺 ・朴葉味噌 ・肉桂玉



郡上市の課題

■ 政策分野 空き家・地域交通・エネルギー・観光

- 大きな課題：人口減少や少子高齢化に伴う地域の活力低下、各方面での担い手不足
- 個別の課題：増える空き家の利活用、交通空白地の拡大を踏まえた新たな輸送資源の導入、エネルギーの地産地消、地域特性を活かしたスノーリゾートの形成 等
- これらの課題を背景に、郡上を将来にわたって住み続けられる地域とするため、地域の民間の有志で構成される“GUJOソサエティ5.1”において、ハード（拠点整備）・ソフト（仕組みづくり）の両面から、目指すべき郡上の社会の姿を議論。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- GUJOソサエティ5.1や市とのオンラインでの定期的な議論に加え、2021年10月、2022年4月・8月・12月に現地を訪問、地域の課題や取組を視察（訪れたエリア：八幡、明宝、白鳥、大和、高鷲 等）。
- 国土交通省関係（過疎地域MaaS、住まい環境整備モデル事業等）やデジタル田園都市国家構想関係の施策を紹介。また目指すべき姿について、都市部と里山部に分けて意見を交換。

今後の方針

- GUJOソサエティ5.1として、今後、絵姿の議論にとどまらず、新たな拠点づくりや官民連携の仕組みづくりの構築等を実行に移していくに当たり、引き続き応援隊から関連施策について情報提供/アドバイスを実施。

養父市の魅力ポイント

■面積 422.9km² ■人口 約2.1万人 ■指定地域 過疎・豪雪

- 棚田王国！別宮、宮垣、能座が「つなく棚田遺産」
- 温泉王国！とが山温泉、やぶ温泉、若杉高原温泉、関宮温泉
- 冷涼王国！高い標高、夏は避暑！冬はスキー！

- 畜産王国！但馬牛、八鹿豚、但馬鶏 そろい踏み☆彡
- 土産王国！棚田米・日本酒、地場産の朝倉山椒・ゆずを活用したおつまみやデザートが豊富 お土産に困らない☺
- 改革王国！いち早く国家戦略特区申請。企業農地取得特例、高齢者雇用特例、旅館業法要件緩和等



養父市（別宮地区）の課題

■ 政策分野 地域振興

- 令和4年3月に、「つなぐ棚田遺産」に認定された別宮の棚田は、兵庫県最高峰たる氷ノ山を正面に臨む棚田として写真家や棚田愛好家等に人気がある。また、棚田は一般に縦に長いものが多いが、本棚田は横に広く、平野のように開けた棚田という点に希少性と特徴がある。本棚田は観光の起爆剤として地元で期待される反面、①別宮地区の人口減少・高齢化により、棚田の維持管理のための人的コストが高まっている点、②案内するための看板が少なく、動線が定まらない点に課題がある。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 令和4年5月：オンライン打合せ（市より別宮の棚田に関する維持管理について問題提起）
- 6月：現地視察（市長等との意見交換、住民との意見交換、別宮の棚田等の視察）
- 9月：オンライン打合せ（解決策の提示、市より新たに看板設置に関する問題提起）
- 12月：現地にて、①地区代表者に指定棚田地域の申請（※1）等について説明・意見交換
②市とともに国道河川事務所に、国道沿いへの棚田の看板設置について相談

※1：指定棚田地域に指定された場合、農林水産省事業の補助率の高上げ等の支援を受けることができる

※2：上記の他、月1ペースでオンラインで打合せを実施

現在の進捗と今後の方針

- 指定棚田地域への申請を含め、今後の棚田の在り方については、住民間での議論の経過、合意形成次第であるため、結論・方針が明らかになるまでには一定の時間を要する見込み。地方応援隊としては、議論の進捗を注視しつつ、随時、市からの求めに応じてアドバイス等を行っていく。
- 看板の設置については、設置箇所、設置条件など方針が明らかになってきたところ。以後、市と河川国道事務所とで具体の調整を行っていく。地方応援隊としては、今後は、随時、市の相談に乗るとともに、必要に応じて、河川国道事務所と市の間で調整していく。

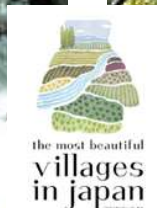
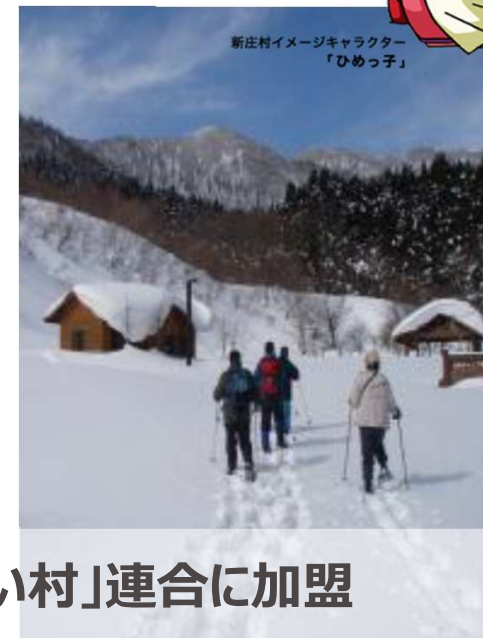
新庄村の魅力ポイント

■面積 67.1 km² ■人口 約850人 ■指定地域 豪雪

- 古くは出雲街道の宿場街「新庄宿」として栄え、旧出雲街道は今も桜並木が立ち並ぶ町のメインストリートとして当時の面影を残している。
- 平均気温が11℃と低く、避暑地のような環境で森林セラピーを体験できる。
- 毛無山を主峰とする1000m級の美しい連山に囲まれ、総面積の9割を占める森林は、植物、野鳥の宝庫となっている。
- 豪雪地帯に指定されるほど積雪量が多く、一面の雪景色を楽しむことができる。



新庄村の魅力を
ご紹介致します!



「日本で最も美しい村」連合に加盟

新庄村の課題

■ 政策分野 地域計画

- 村の中心部である町地区・がいせん桜通りの今後の発展に向け、2019年に策定した「がいせんざくら通り グランドデザイン」を前進させ、長期的視座かつ住民視点での施策を検討し、宿場町として栄えたかつてのにぎわいを取り戻したい。
- がいせん通りのインフラ整備について、埋設されている水道管などインフラ設備の老朽化が懸念されているが、無電柱化や道路舗装と合わせて同時に更新を行いたいところ、グランドデザインや桜の保全の観点などと合せ整備方針について慎重に検討する必要があること。
- 空き家が増えてきている一方で、除去や整備にはコストがかかるため、空き家や除去後の土地の有効な活用手法について検討したい。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 月に1回程度、担当者と隊員でオンラインの打合せを実施
- 年に1回程度、村内視察及び村役場職員との意見交換のため現地を訪問

今後の方針

- グランドデザインの課題について、住民との座談会や協議会にオブザーバーとして参加
- インフラ整備、農地整備、空き家利活用などの諸課題に対して、国の制度等を情報提供

安田町の魅力ポイント

■面積 52.36km² ■人口 約2,200人 ■指定地域 過疎

- 高知県東部に位置し、海・川・森の自然がとっても豊か
海を眺めたり、川で遊んだり。安田川沿いは紅葉もとってもきれいだそうです。

- 宿泊する場合は、キャンプがおすすめ！

もともとあったキャンプ場が、コールマンと提携してリニューアルオープン。

安田川のほとりでキャンプを楽しむことができます。

キャンプグッズの貸し出しもあるので、東京からも手ぶらで遊びに行けます。

- 特産品は鮎と日本酒

清流育ちの安田川の鮎は、良質のコケをえさとし、全国の鮎を食べ比べる「清流めぐり利き鮎会」で2度もグランプリを受賞。

また、安田町には土佐鶴酒造と南酒造という2つの酒蔵があります。



← 唐浜休憩所



↑ 安田川アユおどる清流キャンプ場



↑ 味工房じねんで食べた鮎の塩焼き定食

安田町の課題

■ 政策分野 中山間地域対策

- 阿南安芸自動車道（高規格道路・安田～安芸間）の事業化に併せた、周辺農地や県道・町道の一体的整備
県道の付け替え。防災道路の整備。
⇒地方創生整備推進交付金の道整備交付金が使えないか？
- 中山間地域での担い手不足、耕作放棄地の増加
⇒①農村RMOをつくりたい。
②地域計画を策定しなければならない。地域計画策定推進緊急対策事業の提案。
- 町内観光施設等の再整備
あまり利用されていない公園も・・・ ⇒どうしたらお出かけしたくなるか外部目線で提案。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 令和4年6月に1回目の現地調査を実施。
- 現地調査を踏まえた隊員の気づきや利用できそうな交付金などを町に共有。

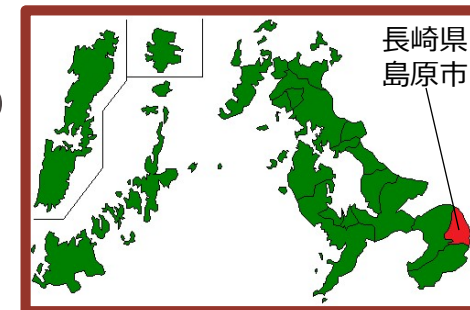
今後の方針

- Webミーティングなどで意見交換。2回目の現地調査の準備。

長崎県島原市の魅力ポイント

■面積 83.0km² ■人口 約4.3万人 ■指定地域 半島

- 豊かな歴史 (島原城、武家屋敷) …①
- ジオパーク (雲仙普賢岳の噴火災害跡、平成新山、眉山の山体崩壊) … ②
- 湧水 (町中を水路が流れ鯉が泳ぐまち、四明荘、舞岳源水) … ③
- 島原鉄道 (キリンレモンのCMで有名な「日本一海に近い」大三東駅) … ④
- 島原名物 (かんざらし、島原手延そうめん、具雑煮、新鮮な魚介類) … ⑤



①



島原城



武家屋敷

②



雲仙普賢岳噴火

サムライブルー龍馬像
(平成新山をバックに)

③



四明荘



舞岳源水

④



島原鉄道大三東駅



幸せの黄色いハンカチ

⑤



銀水「かんざらし」



新鮮な魚介類



島原市の課題

■ 政策分野 半島振興

- 島原鉄道の廃線区間を活用したサイクリングロードの整備
- 農林漁業体験実習施設「舞岳山荘」の有効活用、施設の拡充（グランピング施設化の検討）
- 島原鉄道大三東駅における新たなコンテンツの磨き上げ（集客や収益を生み出すコンテンツ創出）
- ワークーション等施設に改装中の旧堀部邸の活用（集客や収益を生み出すコンテンツ創出）

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 6月にオンラインミーティングにより挨拶や今後の活動方針についての相談
- 7月に現地訪問し地域課題の視察や打ち合わせ等の実施
- 9月に活動の方向性について提案後、断続的にオンラインミーティング、情報提供の実施

今後の方針

- グランピング施設整備に係る他の自治体の優良事例の調査、紹介
- 財源の確保や官民連携策等の紹介
- 地方路線の廃線の回避策や他の優良事例を調査、紹介
- 他の地方応援隊員との課題の共有や連携、横展開

和水町の魅力ポイント

■面積 98.8km² ■人口 約9,000人 ■指定地域 特定農山村、過疎

- 熊本県の北部に位置する和水町は、2006年に菊水町と三加和町が合併して発足。福岡空港から高速バスで約60分、博多駅から新玉名駅（隣の玉名市所在）まで約40分と、九州外からのアクセスもよい。
- 町出身の金栗四三は箱根駅伝創始者でもあり、日本マラソンの父と呼ばれ、スポーツ振興に尽力（グリコのロゴのモデルともいわれている!）
- 特筆すべき観光地は、「なごみキャンプ場」と「三加和温泉」。また、「江田船山古墳」や「八つの神様」があり、歴史的な史跡巡りができる地でもある。
- 三加和温泉は、pH値10以上。手触りとろとろで「スーパークレンジング温泉」とも言われるほど!
- 江田船山古墳は出土品の全てが国宝指定! 出土された刀には約75字の記録文字、ペガサスや魚などが刻まれ、古代ミステリー解明のための貴重な資料。東京国立博物館に所蔵されているので、予習をしてから現地に行くのもおすすめ!



なごみキャンプ場



三加和温泉郷



江田舟山古墳と刀の銘文など

和水町の課題

■ 政策分野 定住対策・地域活性化

- 人口減少（2万人超(S22)→1万人割り(R元)）と高齢化（65歳以上の割合は42.5% (R2)）に伴って、空き家の増加が顕在化。お試し住宅等の移住者支援策に取り組んでいる。
- 江田船山古墳や金栗四三生家などの観光資源があり、史跡、スポーツ、道の駅や温泉センターを核とした地域活性化に取り組むものの、施設老朽化による今後の維持管理コスト等などが課題。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 7月に和水町を訪問し、町内を視察するとともに、町長、まちづくり推進課、商工観光課、農林振興課と意見交換を実施。
- 道の駅に隣接する河川敷に、いわゆる「河川空間のオープン化」を用いた地域活性化策を提案。また、農水省の「データ活用による地域と都会をつなぐ実証プロジェクト」により、消費者データ等のビッグデータを分析するとともに、ワークショップを開催準備中。
- その他、個別の相談に対し、利用できる制度や他自治体の事例等を紹介

今後の方針

- 2月予定の訪問では、データ活用を踏まえたワークショップに参加し、町の現状等について新たな気付きを得た上で、今後の地域活性化策について議論予定。
- 上記の結果やこれまでの打合せ等を踏まえ、道の駅や近隣施設の一体的な利活用等に係る今後の提案などを検討。

人吉市の魅力ポイント

■面積 210.6km² ■人口 約3.1万人 ■指定地域 過疎

- 熊本県南部の山々に囲まれた**人吉盆地**に日本三急流の**球磨川**が中央を流れる自然豊かな地域。支流の川辺川は水質日本一（平成18年～令和3年まで16年連続受賞）。鮎釣りや観光川下り、ラフティングのメッカ。
- 鎌倉初期から明治維新まで**相良家**が700年以上統治。「相良700年が生んだ保守と進取の文化～**日本でもっとも豊かな隠れ里**～人吉球磨～」として、**日本遺産**に第一号認定。
- 平安時代や鎌倉時代の仏像や建物が残る。熊本県における国・県指定文化財のうち、**神社仏閣の約80%**が人吉球磨に存在。（国宝・青井阿蘇神社、相良三十三観音、猫寺・・・etc.）
- 人吉盆地は**三日月**の形。人吉城は**織月城**（三日月城）とも呼ばれる。霊石・織月（三日月）石。
- **美人の湯**・人吉温泉（炭酸水素塩泉・アルカリ性で美肌効果）。JR九州肥薩線の鉄道遺産、ローカル線**くま川鉄道**も人気。アニメ「夏目友人帳」の「聖地」としても有名。



人吉城



国宝・青井阿蘇神社



くま川鉄道



人吉市の課題

■ 政策分野 観光振興

- **令和2年7月豪雨により甚大な被害**。復旧・復興に向けた取組を進めているが、新型コロナ長期化の影響もあり、観光客が大きく落ち込んでいる状況。
- 被災以降、特に夜の賑わいが失われてしまっており、地域独自のナイトタイムの過ごし方の創出等、**夜の賑わいを創出**する工夫が必要。
- 観光の再生のため、**人吉市ならではの観光コンテンツの確立**が必要。特に、来訪者の増加を図るとともに、滞在時間の拡大、リピーター化、**観光消費額の増大につなげられる仕掛け**が必要。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- これまで **3度**にわたり人吉市を訪問し、市長、副市長、経済部長、観光振興課長等と**意見交換**を行うとともに、現地視察や地域関係者への**ヒアリング**も実施。
- 国の支援制度の紹介等に加えて、地方創生に資するマーケティングに関する**講演会**も実施。
- 観光消費額増大の観点から、**土産用菓子の開発とPR**を支援。WEB媒体でのPRに加え、熊本県アンテナショップ「銀座熊本館」での期間限定販売を支援。ふるさと納税返礼品への追加も助言。

今後の方針

- **観光振興は、マーケティング思考が不可欠**な政策分野であるため、引き続き、マーケティングや人材育成に関する支援に努めたい。

知名町の魅力ポイント

■面積 53.3km² ■人口 約5,600人 ■指定地域 奄美

■ どこまでも続く透きとおった青い海と白い砂浜

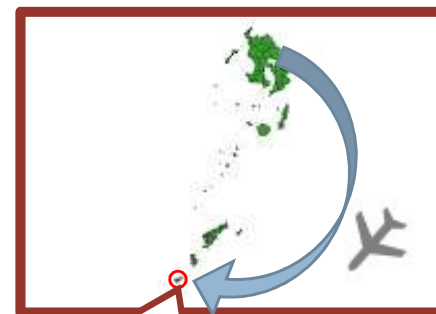
島には手つかずの砂浜（ビーチ）が残り、シュノーケリングで少し潜れば熱帯魚やサンゴを見られます。少し沖まで出てダイビングをすれば、ウミガメやザトウクジラにも出会えます。

■ 地底に神秘の空間が広がる鍾乳洞

島には200以上の鍾乳洞があり、洞窟を探検するアクティビティ「ケイビング」も楽しめます。手軽に入れる観光名所の「昇竜洞」から、ヘッドライトを付けて入る本格的な洞窟まで様々です。

■ 南国特有の花や野菜・果物、海産物

マンゴーやイセエビなどが特産品で、ふるさと納税の返礼品にもなっています。
青パパイヤや島バナナは、島で日常的に食べられる野菜や果物です。



沖永良部島
知名町と和泊町からなる隆起サンゴ礁の島。
鹿児島空港から飛行機で約1時間15分。

都会の慌ただしさから離れ、ゆったりとした【島時間】が体感できる知名町だぽー。
ぜひ遊びに来て欲しいぽー！



人工物がない静かなビーチ



島に無数にある鍾乳洞



島のあちこちに絶景が広がる



一年を通して亜熱帯の美しい花々が咲く
（左：ハイビスカス、右：エラブユリ）



ちなぽー

知名町の課題

■ 政策分野 環境・脱炭素

■ 脱炭素先行地域づくり事業の推進に係る支援

- ・ 知名町は、令和4年4月に環境省の「脱炭素先行地域」に選定されており、脱炭素関連施策を推進中。
- ・ 「ゼロカーボンアイランドおきのえらぶ」をスローガンに、2030年までに民生部門・行政部門での石油由来のエネルギーコストの5割減を目指している。
- ・ 特に、再生可能エネルギーを活用した**マイクログリッドの構築**により、海路で輸送される化石燃料に依存し、台風時の停電などのリスクを抱える**離島特有のエネルギー供給における災害脆弱性の解決**に取り組んでいる。
- ・ マイクログリッド事業を担う**地域新電力会社**の設立が、当面の大きな課題。

応援隊の活動報告

これまでの活動

（月1回のweb打合せ、令和4年9月に現地訪問）

■ 地域新電力会社の設立に向け、**情報提供を通じて支援**

- ・ 地域新電力会社の設立に必要な手続きや申請書類について情報提供
- ・ 他の地域での新電力会社の設立状況や自治体の関与について事例紹介

■ 島内の脱炭素に関する取組の現場を訪問（右の写真）

今後の方針

- 脱炭素関連施策の推進に向け、引き続き参考情報の提供等を通じて支援する。



ホテル横の小型風車（写真は台風に備えて傾倒中）

発電した電気は観光用の電気自動車(EV)の充電に活用



町が高校生の通学用に貸出している電動バイク

天城町の魅力ポイント

■ 面積 80.4km² ■ 人口 約5,300人 ■ 指定地域 過疎・奄美

■ 魅力あふれる徳之島・天城町

徳之島は自然豊かでアマミノクロウサギやオビトカゲモドキ、トクノシマテンナンショウといった国際的にも希少な固有種が数多く生息することなどが評価され、奄美大島、沖縄島北部、西表島とともに世界自然遺産に登録された。約500年前から続く伝統文化の闘牛、日本最大級の海底鍾乳洞とされる「ウンブキ」や「ムシロ瀬」、「犬の門蓋」など、多くの観光資源を有している。

■ 人気YouTuberとのコラボ

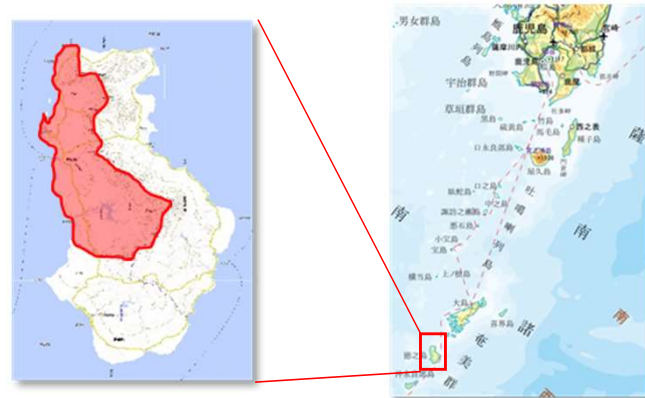
観光需要の喚起を目的に天城町の魅力を最大限にPRするwebドラマ「ねお、町長になる～徳之島の天城町をバズらせる！」を製作。

全6話のストーリーがYoutubeで公開され、映文連アワード2022で優秀作品賞（準グランプリ）を受賞した。（現在は公開されておられません。）

■ 人気のふるさと納税返礼品

【年6回発送】徳之島の天城町から島のフルーツ定期便

島バナナ・パッションフルーツ・マンゴー・ドラゴンフルーツ・メロン・タンカンなど、季節のフルーツを年6回お届け。



アマミノクロウサギ



闘牛



完熟マンゴー

天城町の課題

■ 政策分野 農業政策・観光政策

- かつて賑わっていた平土野商店街について、承継者不足や建物の老朽化などの影響により、衰退が著しく、具体的な活性化施策が見出せていない。
- 町の一部が世界自然遺産に登録されたが、観光面では新型コロナの影響が大きくまだ効果が出ていない。観光客増に向け、行政としてどのような取り組みをしていくか苦慮している。
- カーボンニュートラルについて住民に草の根活動をしていきたいが、思うように進まない。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- これまで **2度**にわたり天城町を訪問。企画財政課やその他関係部署と**意見交換**を行うとともに、現地視察や地域関係者との**ヒアリング**も実施。
- 以前から課題としてあげられていた**平土野商店街の活性化**に向け、ハード面・ソフト面で支援事業を紹介した。

今後の方針

- 商店街活性化に関連する事業等の情報提供等を行っていく。
- その他の課題については他自治体の例を参考にし、解決方法を検討する。



平土野アートプロジェクト

長島町の魅力ポイント

■面積 116.12km² ■人口 約9700人 ■指定地域 過疎・離島

■【食】ブリの養殖が日本一！！

稚魚（モジャコ）から出荷まで、漁場で一貫して養殖されるブリは、『鯨王』のブランドで知られ、その生産量は年間約1万2千トンにも上り、国内のみならず、海外にも輸出されている。養殖のタイも脂が乗っていて美味。

■【飲】芋焼酎『さつま島美人』の故郷！！

長島町の五つの蔵元（宮内酒造・宮乃露酒造・長山酒造・杉本酒造・南洲酒造）の焼酎を巧みにブレンドした全国的に有名な芋焼酎。そのほか島内限定で販売される『さつま島娘』や黒麹で仕込んだ『だんだん』等の多様な焼酎を楽しむ。

■【観】日本有数の化石産地！！

長島町の獅子島では、島の大部分が約1億年前「白亜紀」の地層とされる御所浦層群で覆われており、海岸等の古い地層が露出しているところでは、容易に化石を発見できる。



長島町の課題

■ 政策分野 地域交通・高齢化対策

- 町唯一の離島「獅子島」への架橋
- 高齢化への対策
- 公共交通網の整備
- 廃校舎の利用
- 「化石」を利用した町おこし

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 6月にヒアリングを実施、7月に二泊三日の視察、11月に打ち合わせを実施
- 町内の交通手段としてグリーンクロスモビリティについて担当部署に確認
- 廃校舎の利用策等として農山漁村発イノベーション等整備事業を提案

今後の方針

- 高齢化への対応として省力化を目的とし情報通信整備について提案
- 化石利用についての町おこし策について提案

鶴岡市の魅力ポイント

■面積 1,311.53km² ■人口 約11.8万人 ■指定地域 過疎

- 3つの日本遺産 出羽三山、サムライゆかりのシルク、北前船
- サイエンスベンチャー拠点 慶應義塾大学先端研、YAMAGATA DESIGN
- 世界に認められた食文化 ユネスコ食文化創造都市に認定
- **開湯1,200年の歴史を誇る「あつみ温泉」**
- 経済産業省 伝統的工芸品「羽越しな布」
- **在来作物「焼畑あつみかぶ」の原産地**
- ブランド水産物 紅えび、庄内おぼこサワラ、庄内北前ガニ



➔歴史と最先端技術の温故知新が共存、海と山両方の恵みを楽しめる自然豊かなまち！

焼畑あつみかぶ



国宝 羽黒山五重塔



SUIDEN TERRASSE



鶴岡市温海地域の課題

■ 政策分野 農産物の販路拡大・地域の担い手確保

- 在来作物「温海カブ」の生産農家の高齢化による栽培戸数と生産量の減少
- カブを栽培する際の焼畑農法を始めとした栽培・加工技術の継承者の減少
- 焼畑農法によって育てる温海カブ「**焼畑あつみかぶ**」の**ブランディング・高単価化・販路拡大**

実際に訪問したところ・・・

- 生産量が少量・不安定で、既存販路にも高付加価値品を充分提供できていない
- 生産農家ごとに品質やブランド化意識に差があり、販売機会を生かし切れていない



応援隊の活動報告

これまでの活動

- 8月に顔合わせ、問題意識の共有、意見交換（オンライン）。以降月1回程度のペースでオンラインミーティングを実施。
- 11月に現地視察。12月に隊員側にて活動方針を整理し、自治体側と共有。

今後の方針

- 8月の生産開始時期までをメドに、「焼畑あつみかぶ」のうち、特に高付加価値での域外販売を期待できる農地所有者に対する労働力支援の企画、調整。⇒**高付加価値販売のモデルケースを形成**
- 首都圏での個別の販路確保活動実施の企画・検討。
- より長期的なスパンにおいて、**地域の農家とビジョンやビジネス意識を共有できる体制の構築**

喜界町の魅力ポイント

■面積 56.94km² ■人口 約6,700人 ■指定地域 奄美

■ サンゴ礁が隆起してできた喜界島

- ・町内ではサンゴで出来た石垣や灯籠が見られる
- ・展望スポットの「テーブルバンタ」からは年代ごとのサンゴ礁段丘が一望できる
- ・町の自然を活かした、アクティビティも豊富

■ 農業が盛ん、国内一の白ゴマの産地

- ・サトウキビ畑の中をまっすぐに伸びる全長約3.5kmの「シュガーロード」
- ・生産量日本一の白ゴマや島固有の柑橘類、ソラメを栽培。加工も町内で行う
- ・地下ダムの整備により、ブロッコリーやカボチャなどの作物の栽培も増加

■ 独自の文化・自然が残る島

- ・奄美十景のひとつで、隆起サンゴ礁の高台である「百之台公園」
- ・島一番のパワースポットである巨大ガジュマル



喜界町の課題等

■ 政策分野 関係人口創出

- 人口減少による産業の衰退、宿泊施設や空き屋、交通手段など、関係人口創出に関わる受け皿不足が進んでいる。また、近隣地域と差別化を図り、有効な情報発信をどのように行うかが課題。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 2022年9月から、町との打合せをWEBにて月1回程度実施。
10月に1回目の現地訪問を行い、2023年2月に2回目の訪問予定。
- 町の若手、地域おこし協力隊及び地元の観光業者が集まりPTを結成し、意見交換などを行いつつ活動を進めている。



今後の方針

関係人口の受け皿を探りながら、情報発信の効果的な方法を考える

→市場調査、喜界島のポテンシャル分析を行った上で、

- ① 交流スペース+フリーアコモデーションの仕組み作り
- ② サテライトオフィス、コワーキングスペースに参入する企業誘致に向けた検討
- ③ 町の特産品を使用した加工品の開発

